



4月14日(木)に発生しました熊本での地震ならびにその後の九州での地震に関して、六角会員のネットワークによる現地からの生の声をお伝えします。そのほか、支援活動の情報についてお知らせします。募金等、各自ができることでの協力をお願いします。

\*.-----.\*  
災害支援活動委員会より(第2報)  
\*.-----.\*

■メディア報道されていない避難所や施設から支援を求める情報、支援活動の情報です。  
(2016.4.16 14:00 着情報)

\*支援を予定されている方へ:時間がたつとニーズが変わりますので、現在の情報をホームページやツイッター等で得てください。

1. 介護経営者より欲しいもの

- ・食料、水(避難所への支援物資に偏りが多く)
- ・スプーン、紙皿、紙コップ。
- ・スムーズに飲める支援用とろみ剤、ゼリー等。
- ・インフルエンザ罹患者多数、隔離できないので抗ウイルス薬。
- ・各家庭1箱くらいのマスク。
- ・大き目のバスタオル(毛布は支給あってもタオルない)
- ・室内が暑いので、股関節や脇の皮膚かぶれ予防のもの。
- ・体育館で床が硬いのでみんな腰痛悪化マットレス。
- ・義歯洗浄剤や義歯ブラシ。
- ・髪用ブラシや髪用ゴム、化粧落とし。
- ・消毒や軽い処置ができるもの。
- ・女性ウェットティッシュ、おりものシート、ヘアゴム。
- ・水を使わないドライシャンプー。
- ・タオル、歯ブラシセット。
- ・鎮痛剤、解熱剤、胃薬、湿布。
- ・オムツ(子供用、大人用、ペット用)
- ・生野菜がないので、ビタミン剤とか、整腸剤。

2. 認知症の方を抱える家族より:付き添いの人が必要な状況です

「認知症ぎみの母を看てくれる人がいるだけで助かります。なだめ、納得させるのに、精一杯です。食料や水まで気が回りません。目を離すと、外に出ます。布団被って寝てほしい、といっても、寝てくれない。強い余震がきても、ボーッと、椅子に座ったままです。水が一瞬出たから、今、歯を磨こう、と声かけても、動きません。」

### 3. 現地の医師より

- ・水が足りない。透析している人が継続できるか心配。
- ・医療サイドの人が不足している。医療者は被災者でもあり、現場に出て来る人が相対的に減っている。

### 4. 現地から必要な物資について

- ・飲み水、食料

「昨日たくさんあったスーパーマーケットに今日は全くありません。避難所（小学校）の貯水槽の水がなくなり、流せませんでした。でも、もっとひどい益城、阿蘇を報道で知っているの、誰も文句はいいません。命があるだけ、夜露を防げるだけ、そして、電気あるのが、最大に恵まれていると考えています。でもこの電気もいつまでか。相変わらず余震続いています。雨の崖崩れ、被害拡大が心配です。」

### 5. 現地のケアマネから

「施設が崩壊しそうだから、入所者さんたちを他所に振り分けるのに奔走しているレベル。職場も昨夜とその前の晩は避難受け入れた。でも今日は患者さんの受け入れも全然足りなく避難の方は受け入れられなくなった。もう野戦病院状態。」

### 6. 熊本赤十字病院 ER で診療にあたっている医師からの情報

「夜勤 ER スタッフは主に CSM (confined space medicine) に出向き、私達日勤からのスタッフは ER での傷病者に対応いたしました。発災から約5時間で310人の来院(うちCPA2名)。夜明け前から各県の DMAT も参集しましたが、被災が局地的であったこともあり、そのころにはほぼ CSM も完了。すでに避難所への巡回診療のフェーズに移行しているようです。」

- 日本災害看護学会 HP に先遣隊活動報告が載っています。

現地熊本看護協会の動きなど報告されています。(2016.4.18)

<http://www.jsdn.gr.jp/>

- 医療系も含め、様々な現地の情報等が以下の facebook にアップされています。ご活用ください。(2016.4.18)

<https://www.facebook.com/groups/815154001951358/>

■一般社団日本老年看護学会ホームページに、本学会災害支援検討委員会が作成した「大規模自然災害時の高齢者支援ガイド」を掲載しています。

<http://www.rounenkango.com/>

+.....+

< 発行 >

一般社団法人日本老年看護学会 総務広報  
担当：北川 公子（共立女子大学看護学部）

+.....+

※このメールは2016年4月18日現在のご登録情報をもとにお送りしております。

配信先の変更や停止については、下記事務センターまでご連絡ください。

※このメールの発信元アドレスは、送信専用アドレスです。

本メールへの返信はできません。

お問い合わせは、下記学会事務センターのアドレスにお送りください。

+.....+

<発信元>

一般社団法人日本老年看護学会事務センター  
〒162-0825 東京都新宿区神楽坂4-1-1 株式会社ワールドプランニング内  
Tel:03-5206-7431 Fax:03-5206-7757 E-mail:rounenkango@nqfm.ftbb.net

+.....+